

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサートプロダクト4	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	イベント企画コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	270時間
単位数	9単位			授業形態	実習
教科書/教材	授業内容により資料の配布を行う。				
担当教員情報					
担当教員	田中朋子		実務経験の有無・職種	有・ブライダル/マネジメント	
学習目的					
イベントを1から企画し制作していく中でエンタテインメント業界に必要な知識と理解を深め、社会人としての基礎力の向上をめざしていく。 この科目を受講する学生はイベントについての企画書の作成から一般企業へのプレゼンなどを経験し、一般社会で通用する為のノウハウを学ぶ。 また、学生が自身で企画したイベントが実際に授業として行われ達成できることにより意識向上につながることで就職活動へも大きく役に立ち、現在のエンタテインメント業界で求められる人材はどのような人なのかを理解できるようになる。					
到達目標					
1年次で進めてきた実習内容のクリエイティビティの向上。それらの作業の精度を高める事とスピードアップを図り、社会に出た時に即戦力となる企画力を身に付ける。また一般企業やエンタテインメント企業との連携も図り、社会に出た時に必要な知識や技術習得を目標としています。 さらに実習を通して人間性、社会性のさらなる向上を目指し、グループで協力し進めることで人間関係の大切さを理解する事、そして学んだ知識と経験を就職活動に活かして行く事を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	産学連携のイベント制作を増やし、企業との連携を高める。そこから自ら課題を発見し、解決していける力を身につけていく。				
注意点	1年次同様に、授業後振り返りシートの記入を行う。何を身につけ、何を疑問に思ったかを必ず振り返る。 授業時数の4分の3以上出席しない者は、成績評価の対象としない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	イベント企画書の提出やイベントへのスケジュール管理を課題とし提出		
	小テスト	10%	イベント内容の把握、協賛企業などの理解度などのテストを実施する		
	レポート	20%	イベントの理解度や企業の理解度を高めるために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	40%	実習時間にて行われる企画のプレゼン内容や積極的な授業への参加、授業態度により評価する		
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	前期復習		前期にて行ったイベントの反省点を今一度確認し、理解していることを確認する		
2回	企業研究①		就職活動にて自身の希望する企業を調べ、対策を行う		
3回	企業研究②		就職活動にて自身の希望する企業の面接対策やテスト対策を行う		
4回	学園祭イベント企画立案		学園祭イベント内容を企画し、スケジュールを企画していく		
5回	学園祭イベントプレゼンテーション		学園祭イベントでの企画を企画書に落とし込み、授業内にてプレゼンテーションを行う		
6回	学園祭イベント運営準備		学園祭イベントの準備を進め、制作を進める。また進行の確認を行い本番に向け調整を行う		
7回	学園祭イベント運営本番		学園祭本番日の運営を行い、工程を理解する		
8回	学園祭イベント振り返り		学園祭イベントを振り返り、反省点をまとめて報告書に落とし込む		
9回	協力企業と協賛企業①		協力企業や協賛企業などの違いを理解し、各企業がどのような事を行っているのかを研究		
10回	協力企業と協賛企業②		協力企業や協賛企業をリストアップし、卒業イベントに向けて対策を考える		
11回	卒業イベント企画立案		卒業イベント内容を企画しスケジュールの組立を行うと同時に協力企業や協賛企業への企画書も作成		
12回	卒業イベントプレゼンテーション		卒業イベントでの企画を企画書に落とし込み、授業内にてプレゼンテーションを行う		
13回	協力、協賛企業の選定		イベント内容の決定と、協力企業や協賛企業を決定し、獲得に向けアポイントやプレゼンを行う		
14回	卒業イベント運営準備		卒業イベントの準備を進め、制作を進める。また内容の確認や協賛企業の確認等進める		
15回	卒業イベント運営本番		卒業イベント本番日の運営を行い、工程を理解する		